

連結貸借対照表の要旨

(単位:億円)

	平成15年度 (平成16年3月31日現在)	平成16年度 (平成17年3月31日現在)
資産の部	(19,163)	(19,012)
流動資産	6,704	6,928
現金及び預金	692	818
受取手形及び売掛金	2,778	2,812
たな卸資産	2,336	2,528
その他	896	769
固定資産	12,459	12,083
有形固定資産	10,011	9,666
建物及び構築物	2,907	2,948
機械装置及び運搬具	3,775	4,199
その他	3,327	2,518
無形固定資産	136	139
投資その他の資産	2,311	2,278
投資有価証券	1,188	1,361
その他	1,122	916
資産合計	19,163	19,012

	平成15年度 (平成16年3月31日現在)	平成16年度 (平成17年3月31日現在)
負債の部	(15,526)	(14,877)
流動負債	7,662	7,937
支払手形及び買掛金	3,166	3,581
短期借入金	2,515	1,877
一年内償還社債	208	304
コマーシャル・ペーパー	—	150
その他	1,772	2,024
固定負債	7,863	6,940
社債	3,044	2,835
長期借入金	3,516	2,937
その他	1,302	1,167
少数株主持分	(336)	(342)
少数株主持分	336	342
資本の部	(3,301)	(3,792)
資本金	2,181	2,181
資本剰余金	679	679
利益剰余金	316	816
土地再評価差額金	19	4
其他有価証券評価差額金	209	253
為替換算調整勘定	△95	△131
自己株式	△9	△11
負債・少数株主持分及び資本合計	19,163	19,012

(注) 金額は億円未満の端数を切り捨てております。

総資産は、売上高の増加により流動資産が増加した一方で、設備投資は減価償却費を下回る水準であったことなどから、前期末に比べ151億円減少し、1兆9,012億円となりました。

株主資本は、512億円の当期純利益を計上したことなどから、前期末の3,301億円に比べ490億円増加し、3,792億円となりました。これらの結果、当期末の株主資本比率は19.9%となり、前期末に比べて2.7%上昇しました。

連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

	平成15年度 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	平成16年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
営業収益	12,191	14,437
営業費用	11,184	12,771
営業利益	1,006	1,665
営業外収益	321	358
営業外費用	821	863
経常利益	507	1,160
特別利益	202	123
特別損失	352	336
税金等調整前当期純利益	357	946
法人税、住民税及び事業税	76(減算)	257(減算)
法人税等調整額	41(減算)	162(減算)
少数株主利益	18(減算)	14(減算)
当期純利益	220	512

(注)金額は億円未満の端数を切り捨てております。

特別損益は、関係会社株式の売却に伴う投資有価証券の売却益26億円と固定資産の売却益26億円を計上する一方で、財務体質の健全化という観点から、固定資産減損損失を90億円、たな卸資産評価損を109億円計上しました。退職給付関連では、会計基準変更時差異の償却費用127億円、および過去勤務債務償却の償却益69億円との差し引きで、58億円の損失を計上しました。これらの結果、特別利益は123億円、特別損失は336億円の計上となり、特別損益は差し引き213億円の損失となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

	平成15年度 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	平成16年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,040	2,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△863	△505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357	△1,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額	△183	111
現金及び現金同等物の期首残高	818	685
合併による現金及び現金同等物の増加額	43	—
連結範囲の変動による増減額	6	9
現金及び現金同等物の期末残高	685	805

(注)金額は億円未満の端数を切り捨てております。

キャッシュ・フローについては、事業収益が好調に推移したことなどから、当期の営業キャッシュ・フローは2,257億円となりました。一方、設備投資に係る支出を中心に△505億円の投資キャッシュ・フローを計上したことから、当期のフリー・キャッシュ・フローは1,752億円となり、これらにより外部負債を削減したことなどから、財務活動によるキャッシュ・フローは△1,639億円となりました。